

令和6年5月21日

各位

会社名 株式会社 N a I T O  
 代表者名 取締役社長 坂井 俊司  
 (コード：7624 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 取締役管理部門担当 伊藤 潤  
 (TEL 03-6802-8136)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析・評価

当社の ROE は直近 5 年間では 6%未満で推移。株価は株式の立会外分売を実施した令和 5 年 2 月期及び令和 6 年 2 月期に大きく下落しており、PBR は恒常的に 1 倍を下回っている状況です。

これらの主な要因は、当社の収益性及び資本効率性の低さにあると考えております。

#### 連結経営指標の推移

	令和2年2月期	令和3年2月期	令和4年2月期	令和5年2月期	令和6年2月期
売上高(百万円)	46,467	39,145	43,622	44,457	44,064
経常利益(百万円)	1,032	442	668	932	552
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	686	274	448	732	345
1株当たり純資産額(円)	215.82	216.92	223.19	231.25	234.22
1株当たり当期純利益金額(円)	12.54	5.02	8.19	13.38	6.31
期末株価(円)	167	162	170	150	137
ROE(%)	5.9	2.3	3.7	5.9	2.7
PER(倍)	13.3	32.3	20.8	11.2	21.7
PBR(倍)	0.77	0.75	0.76	0.65	0.58

※ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本

PER = 株価 ÷ 1株当たり当期純利益金額

PBR = 株価 ÷ 1株当たり純資産額

## 2. 改善に向けた方針や目標、具体的取り組み

現状分析・評価を踏まえ、長期的な目標としてROE8%、PBR1倍を目指し、今後の事業の更なる成長と収益性及び資本効率性の向上を図るため、以下の取り組みを注力して参ります。

### (1) 収益力の向上(中期経営計画の着実な実行)

中期経営計画で定めた以下の重点施策の着実な実行により、既存事業のシェア拡大を図るとともに、デジタル技術を活用した受発注業務や物流業務等の自動化による生産性の向上を図りつつ、物品販売からアフターサービスを行うオールインワン事業を確立し、お客様から機械工具のソリューションパートナーとして頼られ選ばれる企業を目指していきます。

- ① 国内既存事業のシェア拡大及び収益力の向上
- ② 新規事業展開による事業規模の拡大
- ③ 海外事業の推進
- ④ デジタル技術を活用した生産性の向上
- ⑤ 時代に合わせた専門人財及び中核人財の育成

### (2) 安定的な株主還元継続

当社は、企業体質の強化や将来の事業展開に備えて、内部留保の確保を図りつつ、株主の皆様方への利益還元に努めることを基本としながら、業績の推移と今後の経営環境等を勘案して決定する方針をとっております。収益力の向上に合わせ、1株当たり配当額の引き上げを目指して参ります。

#### 連結経営指標の推移

	令和2年2月期	令和3年2月期	令和4年2月期	令和5年2月期	令和6年2月期
1株当たり配当額(円)	4	2	3	4	4
配当性向(%)	31.9	39.8	36.6	29.9	63.4

### (3) IR活動の充実

資本コスト低減に向け、決算説明資料の作成・開示及びコーポレートサイトの充実による当社魅力の発信に努めて参ります。

以上